

消費動向調査（平成 29 年 11 月実施分）  
調査結果の要点

平成 29 年 11 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、10 月の 44.5 から 0.4 ポイント上昇して 44.9 となり、3 か月連続で前月を上回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全てが前月から上昇した。

消費者態度指数の動きから見た 11 月の消費者マインドの基調判断は、**持ち直している**。（据置き、前月から表現の変更なし。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 29 年	9 月調査	43.9	（0.6）
	10 月調査	44.5	（0.6）
	11 月調査	44.9	（0.4）

過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 29 年 11 月）は 42.2。

平成 29 年 11 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 4 か月連続で前月から増加、「低下する」が前月と横ばい、「変わらない」が 2 が月ぶりに前月から減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が高水準である**。

（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：%）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 29 年	9 月調査	4.9	15.8	76.2	3.1
	10 月調査	3.7	15.8	77.5	3.0
	11 月調査	3.7	14.5	78.6	3.2

「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 29 年 11 月）は 65.9%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.0%。